

2021年 第41週 (10月11日 ~ 10月17日) の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) 咽頭結膜熱が発生しています
 - 2) 感染性胃腸炎の発生が続いています
 - 3) ダニ媒介感染症に注意しましょう
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 油断せず、感染再拡大に十分な警戒を！
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について
- 5 「結核は、過去の病じゃありません」

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症) (報告のあった全疾患)

表

1

	疾患名	定点当たり患者数			増減 (今週-先週)
		今週	先週	先々週	
1位	咽頭結膜熱	1.00	0.00	0.00	+1.00
1位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.00	0.50	+1.00
3位	感染性胃腸炎	0.50	1.00	1.50	-0.50
3位	突発性発疹	0.50	1.00	0.50	-0.50
3位	流行性耳下腺炎	0.50	0.00	0.00	+0.50

2 発生から見る注意点

- 1) 咽頭結膜熱が発生しています

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭の発赤、結膜の充血を主な症状とするアデノウイルスのよる子ども急性のウイルス感染症です。通常は夏期に流行し6月頃から増加しはじめますが、最近では年間を通して発生しています。予防は、感染者との接触をさげ、手洗い、うがいを励行することです。学校や保育園などの施設で流行したときは、ドアノブやスイッチなど複数の人が触れるところの消毒をしましょう。

咽頭結膜熱とは (国立感染症研究所 HP より)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/323-pcf-intro.html#>

- 2) 感染性胃腸炎の発生が続いています

高齢者等の施設内での嘔吐や下痢等の症状見られた場合は、感染性胃腸炎を念頭に置き、対応をお願いします。症状消失後も1週間~1か月程度、便中にウイルスが排出されていますので、引き続き注意が必要です。

感染性胃腸炎とは (兵庫県ホームページ)

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/hw12_000000035.html

- 3) ダニ媒介感染症に注意しましょう

兵庫県内では、日本紅斑熱は今週1人で、今年の累積患者数は17人で、例年に比べ多い状況で推移しています。

ダニ媒介感染症

病名	日本紅斑熱	つつが虫病	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
病原体	日本紅斑熱リケッチア	つつが虫病リケッチア	SFTSウイルス
媒介ダニ	マダニ	ツツガムシの幼虫	マダニ
潜伏期間	2～8日	5～14日	6～14日
症状	発熱・発疹・刺し口重症化することあり		発熱・消化器症状重症化することあり

ダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。

草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、虫除け剤を使用し、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大切です。

また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。マダニに咬まれたら、無理に引き抜こうとせず、皮膚科など医療機関で処置をしてもらいましょう。

兵庫県立健康科学研究所の検査では、日本紅斑熱患者1人（女性40歳代、血清10/7採取）で、日本紅斑熱リケッチア抗体（IgM）を確認しました。

ダニ媒介感染症（厚生労働省ホームページ）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第41週は206人（先週392人）の新型コロナウイルス新規感染者で、減少が継続しています。感染者激減の要因については、国内においても明確な説明は確立していませんが、ワクチン接種率の向上、夜間滞留人口の減少、深刻な医療ひっ迫により、人々が危機感を高めて感染対策に協力するようになったことなどが挙げられています。

新規感染者数は減少していますが、今後年末年始を控え、冬場の再流行が懸念されます。ここで気を緩めることなく、引き続き危機感をもって感染防止対策の徹底をお願いします。

ご自身と大切な人の命を守るためにも、マスクの着用、手洗いや手指消毒、3蜜の回避等感染防止対策を徹底し、家庭内では定期的な換気やドアノブなど共用部分の消毒、タオルや食器などの共用を避けるなど、感染防止対策をお願いします。

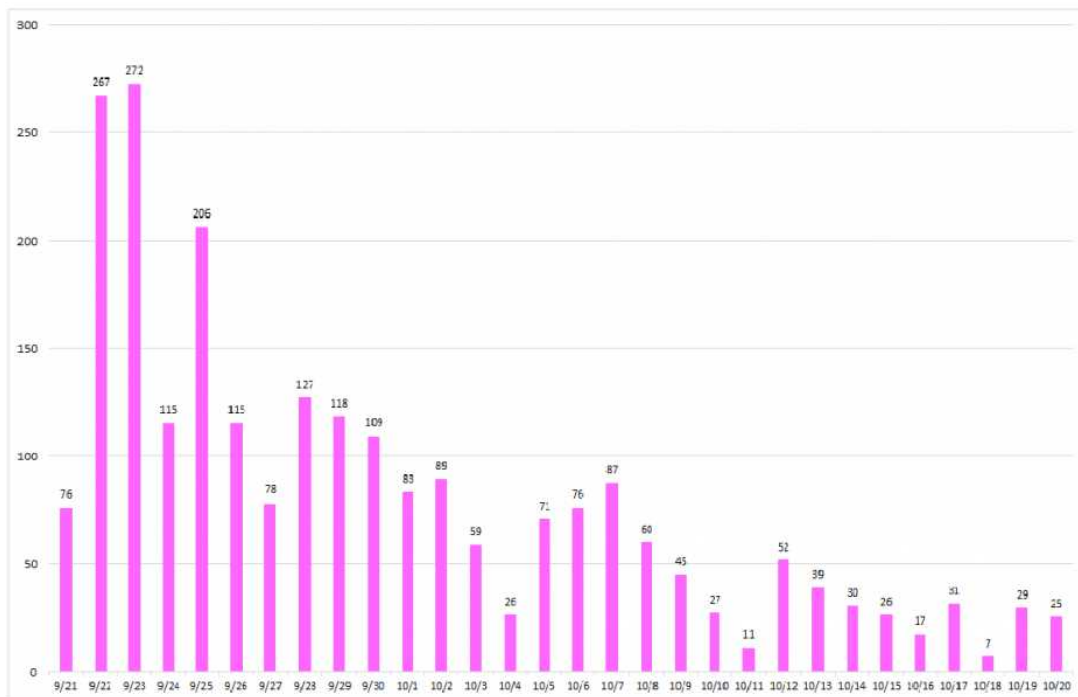
1) 油断せず、感染再拡大に十分な警戒を！

第5波も収束に向かっていますが、感染再拡大への警戒も必要です。

【直近1週間平均患者数】

○直近1週間平均 : 23.4人

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（9/21～10/20）】



兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

＜皆様へのお願い＞

落ち着いた社会生活を取り戻せるよう、感染防止対策の徹底をお願いします。

- 1 体調異常があれば、登校・出勤を控えましょう。
- 2 感染対策を徹底している飲食店を利用しましょう。
- 3 飲食時でも会話の際にはマスクをつけましょう

会食は同一テーブル4人以内、2時間程度にしましょう

- 4 ワクチン接種を積極的に受けましょう

感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）



新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9:00～17:30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

<問合せ先・予約先>朝来健康福祉事務所

電 話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メー ル asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実 施 日 11月実施日 11月4日(木)、11月18日(木)

5 「結核は、過去の病じゃありません」

高齢者に関わる皆さまへ

結核は、高齢者が多く発症する感染症です。結核は、症状が風邪に似て目立たないことも多く、また本人が気づかないまま進行してしまうこともあります。早期発見のために、年に1回は定期健診等で胸部レントゲン検査すること、2週間以上続く咳、痰、微熱、倦怠感等の症状のあるときは医療機関を受診することが大切です。

【相談・問い合わせ先】 朝来健康福祉事務所 電話 672-6870

介護スタッフのための結核基礎知識(朝来健康福祉事務所作成)

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/documents/kekkakukisochishiki.pdf>

厚生労働省 結核ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html